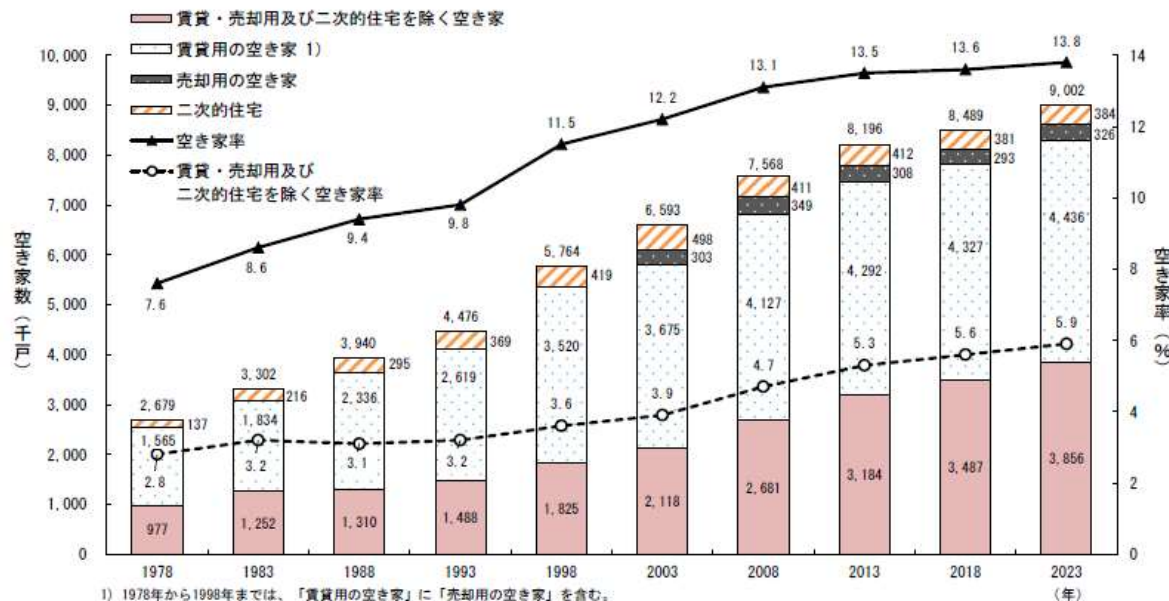


●住宅・土地統計調査結果（全国）について

- ・総住宅数のうち、空家は900万2千戸と、2018年（848万9千戸）と比べ、51万3千戸の増加で過去最多となっており、総住宅数に占める空家の割合（空家率）は13.8%と、2018年（13.6%）から0.2ポイント上昇し、過去最高となっている。空家数の推移をみると、これまで一貫して増加が続いており、1993年から2023年までの30年間で約2倍となっている。
- ・空家数のうち、「賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空家」は385万6千戸と、2018年と比べ、36万9千戸の増加となっており、総住宅数に占める割合は5.9%となっている。



■空家数及び空家率の推移－全国（1978年～2023年）（資料：令和5年住宅・土地統計調査）

※住宅・土地統計調査における「住宅」

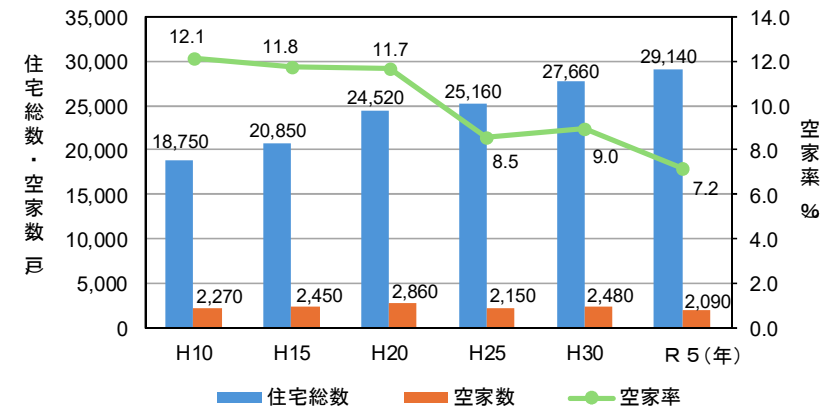
一戸建の住宅やアパートのように完全に区画された建物の一部で、一つの世帯が独立して家庭生活を営むことができるように建築又は改造されたものをいう。

※「住宅・土地統計調査」は悉皆（全数）調査ではなく、抽出調査であることから、数値は調査対象となった住宅に対する数値である。

●住宅・土地統計調査結果（栗東市）について

①空家数、空家率の推移

- ・本市における住宅総数は増加し続けており、令和5年における住宅総数は29,140戸で、平成30年と比較して1,480戸増加しています。
- ・令和5年現在の空家数は2,090戸となっており、空家率は約7.2%で、県内市町の中では、草津市に次いで2番目の低さとなっています。



■栗東市の住宅総数、空家数、空家率の推移（資料：令和5年住宅・土地統計調査）

【参考】

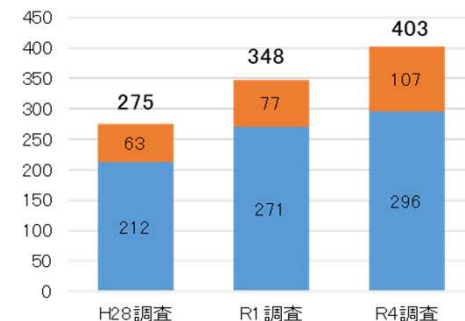


図 戸建ての空家数の推移

■令和4年度栗東市空家等現況調査

表 調査結果

項目	空家数(戸)
R1現況調査結果	348
R4現況調査(新規)	164
R1～R4把握	7
R4現況調査(解消)	▲116
R4現況調査結果	403